

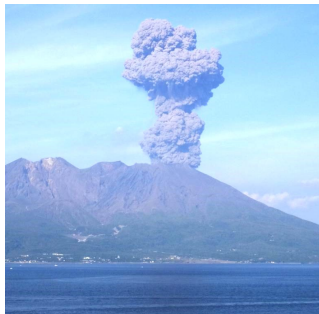
5. 噴煙上昇と変形・移流 2016.5.13_16:38

気象台のリストでは、噴煙高度 3700m、南岳火口から流向NEとある。B点では噴煙上昇から屈曲変形し東方へ遠ざかる様子が詳しく見られた。17時には発達した爆発噴煙のB,K,T 3点比較が出来る。

5-1. B点から



B 1 [_164003kd](#) (d: 上cut)



2 [_164028kd](#)



3 [_164100kd](#)



4 [_164116kc](#)



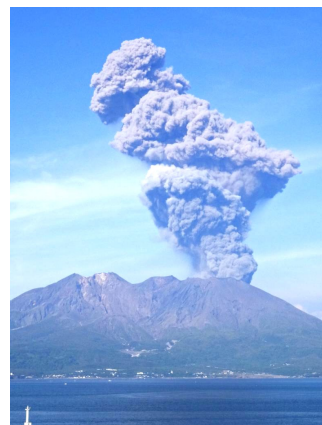
5 [_164145k](#)



6 [_164223k](#)



7 [_164235k](#)



8 [_164316k](#)



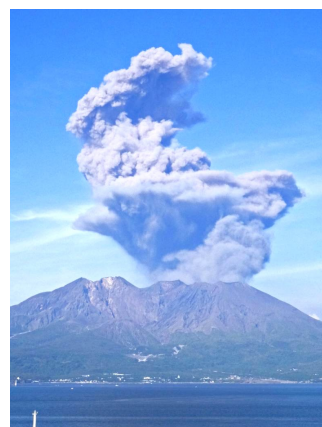
9 [_164426k](#)



10 [_164526k](#)



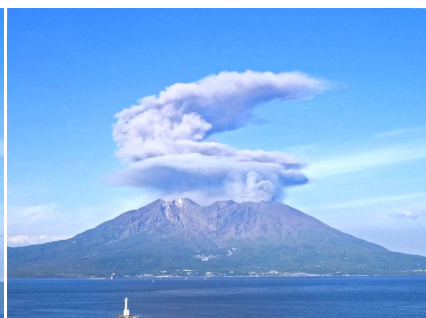
11 [_164602k](#)



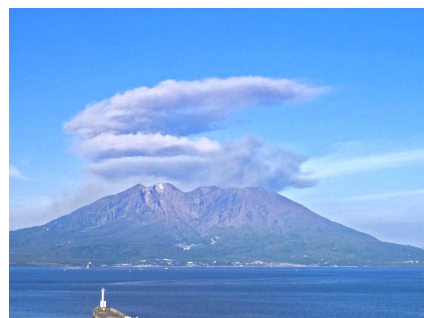
12 [_164734k](#)



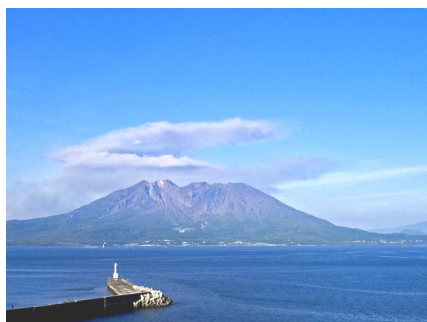
13 [_165246k](#)



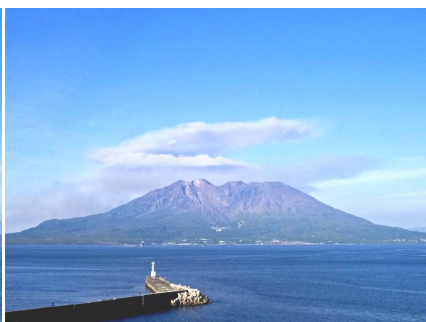
14 [_165937k](#)



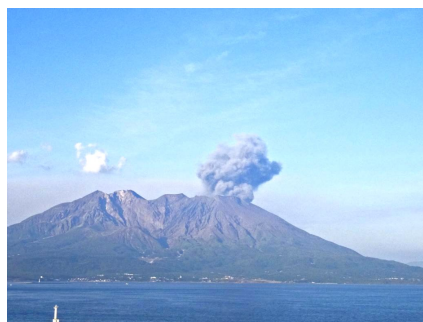
15 [_170721k](#)



16 [_172016k](#)



17 [_172031k](#)

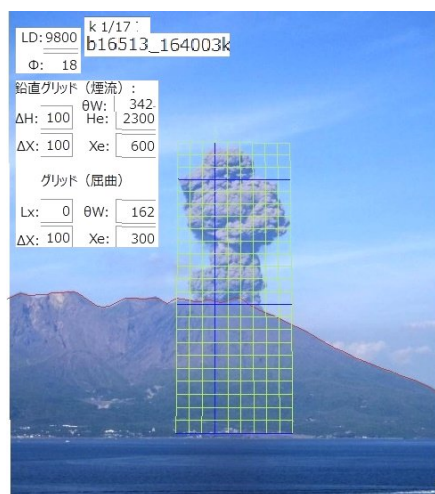


18:01 1000m 南岳からEへ: 18 [_180735k](#)

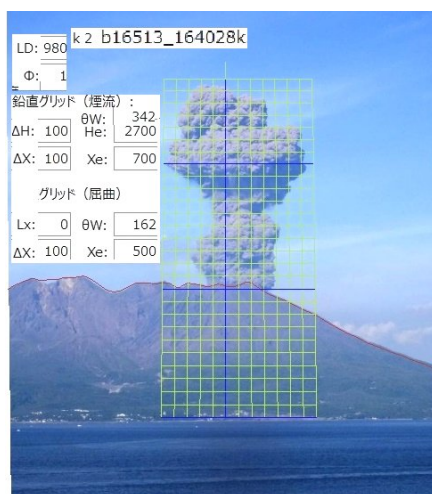
5-2. B点撮影の写真解析

1から9と11以後の多くでは2つの鉛直グリッド(屈曲・煙流)を昭和火口($\Phi=18^\circ$)の煙柱軸からカメラを結ぶ線に垂直に左右に描く直交グリッドGを用いた。

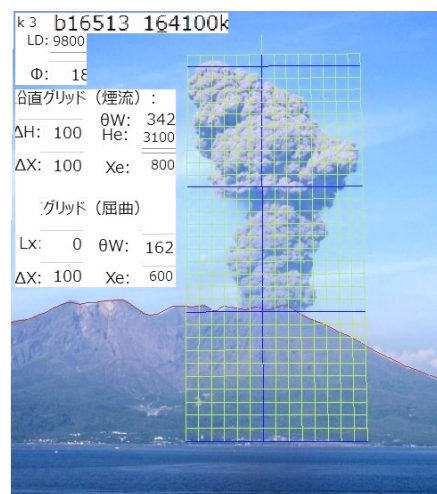
10, 13, 17では、右側の煙流グリッドはそのまま、屈曲グリッドは $\theta W=215^\circ$ としてNEへ向かわせた。



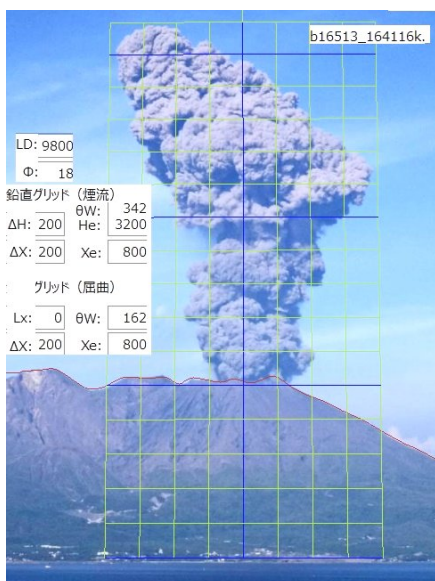
1 [_164003kG](#)



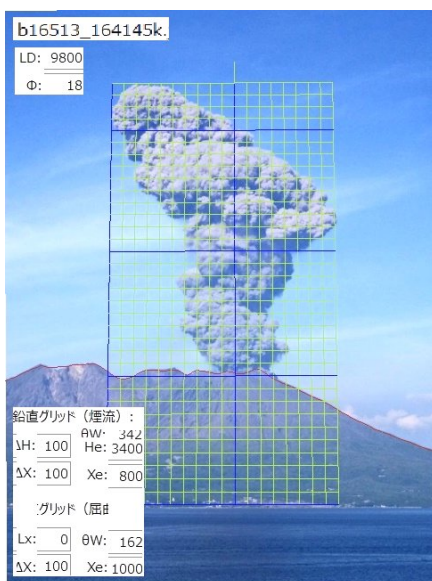
2 [_164028kG](#)



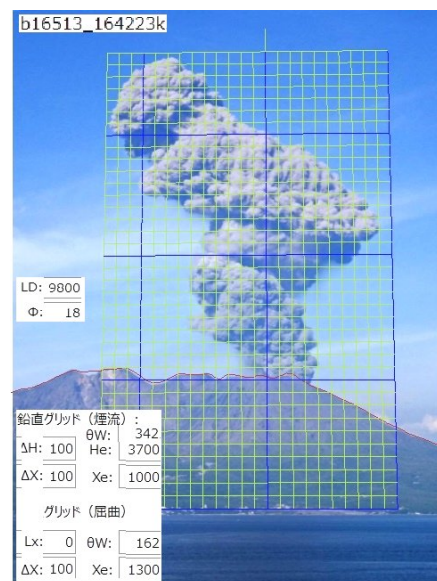
3 [_164100kG](#)



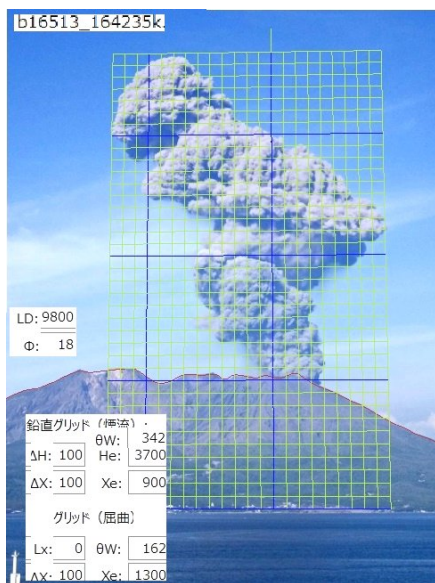
4 [_164116kG](#)



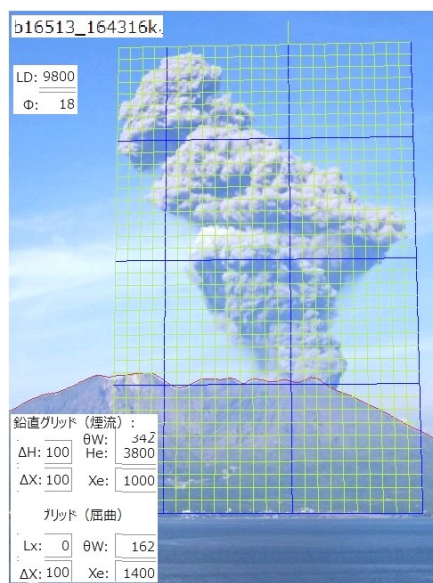
5 [_164145kG](#)



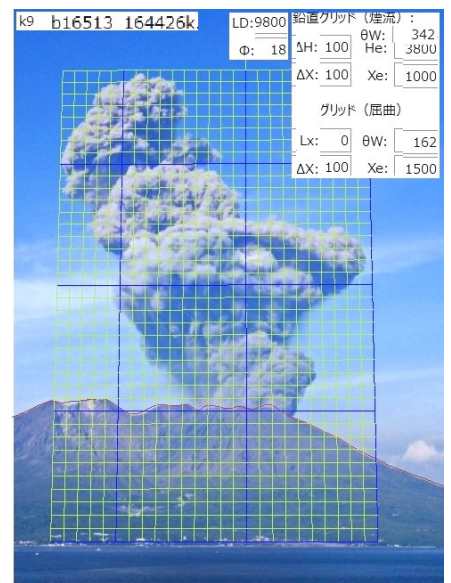
6 [_164223kG](#)



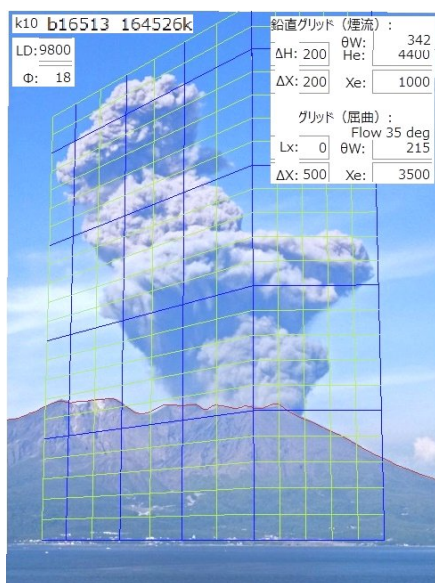
7 [164235kG](#)



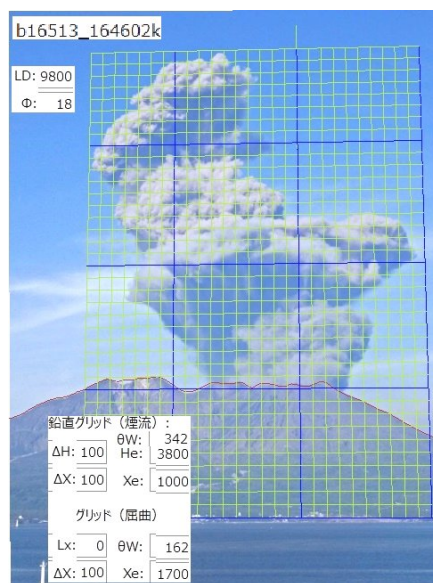
8 [164316kG](#)



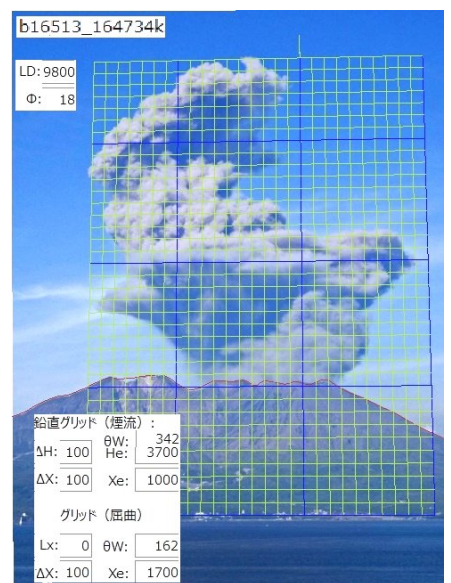
9 [164426kG](#)



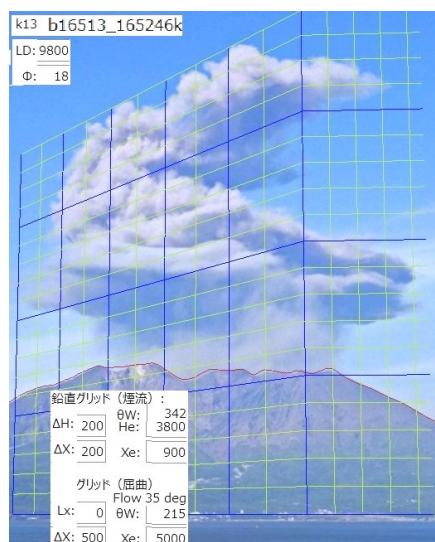
10 [164526kGF](#)



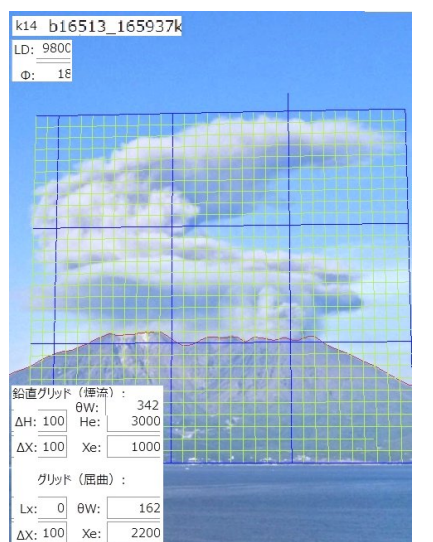
11 [164602kG](#)



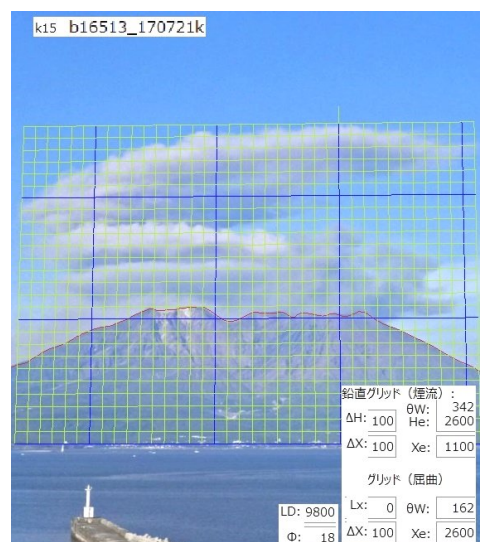
12 [164734kG](#)



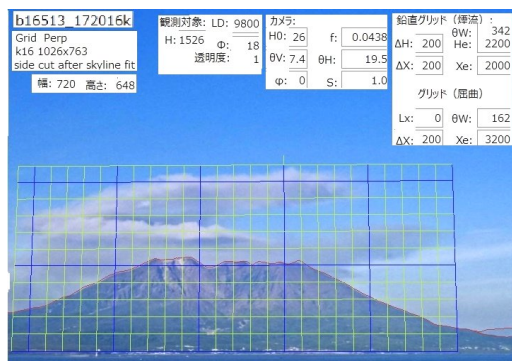
13 [165246kGF](#)



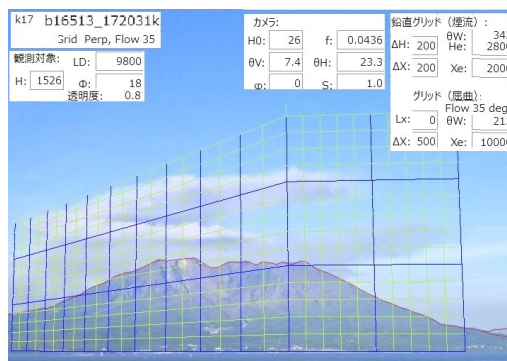
14 [165937kG](#)



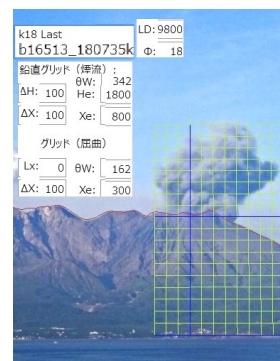
15 [170721kG](#)



16 [_172016kG](#)



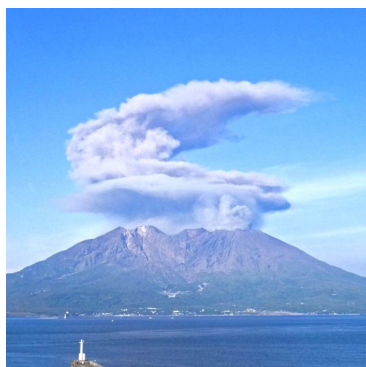
17 [_172031kGF](#)



18 [_180735kG](#)

5-3. 17時の B,K,T 3点画像比較

錦江台と垂水の定時観測に非常に近い時刻のB点での撮影と、K,T 17時の記録を比較する。



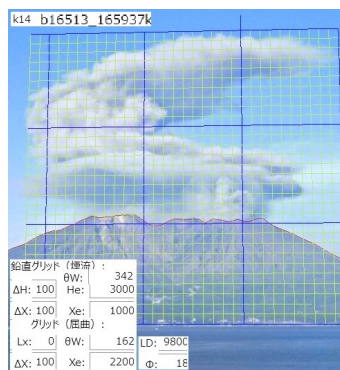
[B_165937kc](#) No.14 中央部



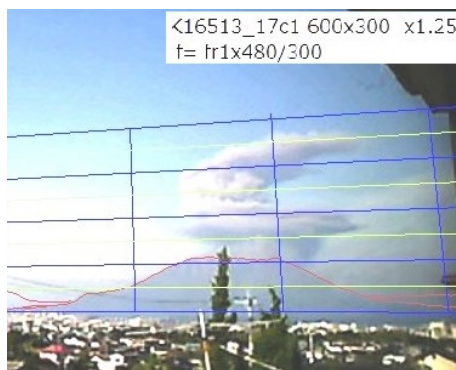
[K_17](#) 錦江台から 中央右寄り



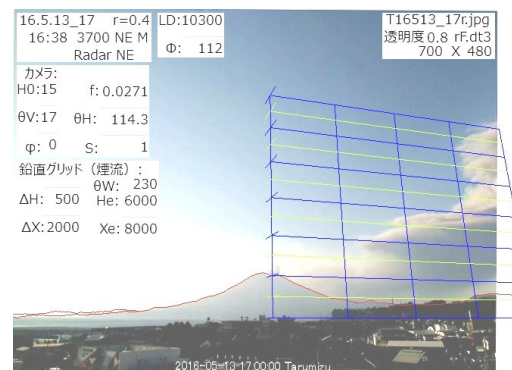
[T_17](#) 垂水市役所から 全



14 [B_165937kcG](#)



[K_17G](#)



[T_17F](#)

B,Kを比べると、同じような形の噴煙が、スタートの煙柱軸を含む直交グリッドの高さ目盛ではかなり異なり、遠ざかっていることが分かる。

東方に遠ざかる噴煙上部の一部がTの画像に見えるので、前後のBの写真も合わせて、噴煙の位置を決定出来ると思われる。

Tでは、煙流グリッドを $\theta W=215^\circ$ とした。これは、レーダ画像では流向はNEに近く、やや東寄りになっていることに合わせた。